

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

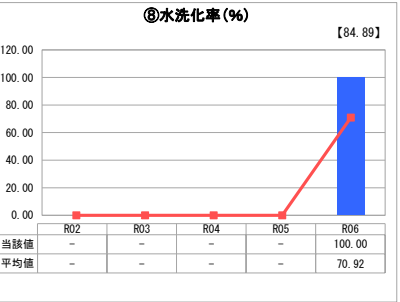
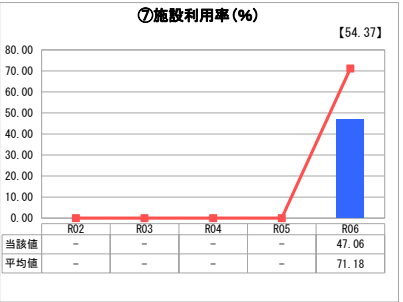
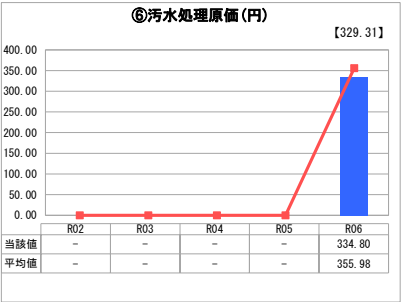
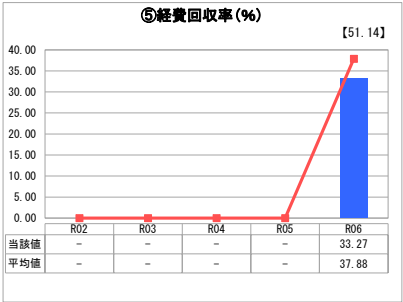
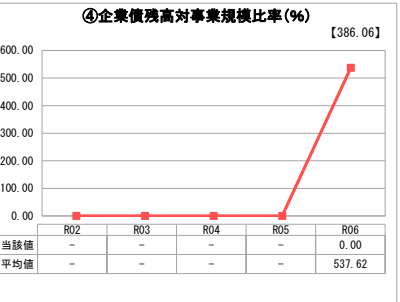
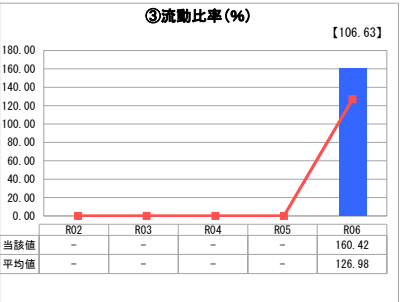
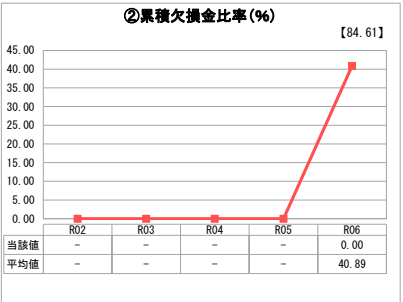
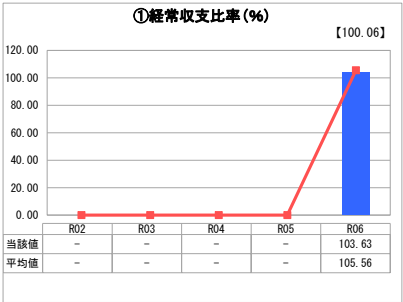
群馬県 長野原町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	98.19	3.39	100.00	2,200

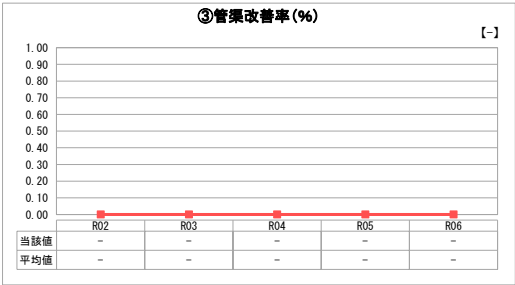
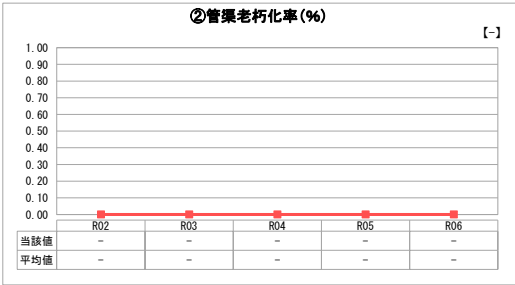
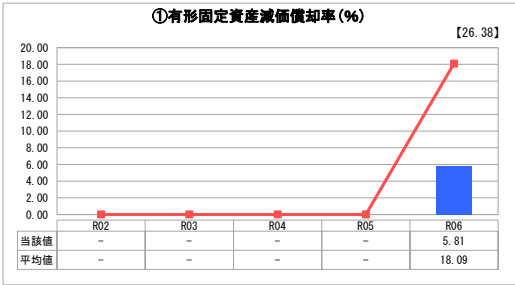
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,082	133.85	37.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
170	117.50	1.45

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は当該値100%を超えており、今後も費用削減や適切な設備更新投資に留意していきます。  
②累積欠損比率は0%ですが、今後も欠損金の防止に努めることと、設備に対する維持管理費増加への対応等、将来を見据えた取組が必要と考えます。  
③流動比率については、類似団体平均値を上回っており今後も維持していくことに努めます。  
④企業債残高はありませんが、使用料だけでは賄えない部分を一般会計からの補助金で補填し事業を実施している状況です。  
⑤経費回収率は類似団体の平均値を下回りましたが、設備修繕費等の増減に伴う変動があるものの、使用料に大きな変動はありません。料金滞納者への対応の見直しや、費用削減等により改善に努めます。  
⑥汚水処理原価及び⑦施設利用率は類似団体の平均値を下回る水準であることから、使用料金の適正度の他将来推計の検討等の取り組みが必要です。

### 2. 老朽化の状況について

平成21年度からの実施事業で老朽化度は比較的低いが、今後発生する更新、修繕等に備えた検討が必要です。

## 全体総括

令和6年度は法適用初年度であるため前年比較が不可能です。  
適正な維持管理を行い設備負荷の軽減を図り修繕費等の支出抑制に努め、将来を見据えた使用料の検証が必要と思われます。引き続き経営戦略の見直しなどを実施し、安定経営を目指します。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。